

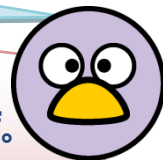
ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意を！

東部教育事務所

冬場（特に12月～1月）が発生のピーク！

ノロウイルスに感染すると…

潜伏期間は24～48時間。吐き気、嘔吐、下痢、腹痛。発熱は軽度。症状は1～2日続いた後、治癒し、後遺症もありません。感染力が強く、ワクチンや治療薬はありません。感染していても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。



1 ノロウイルスの感染経路はほとんどが経口感染です！

次のような感染様式があります。（主なもの）

- ① 感染者のふん便や嘔吐物から人の手などを介して二次感染
- ② 人同士の接触する機会が多いところで人から人へ飛沫感染等直接感染
- ③ 食品を扱う人が感染者で、その人を介して汚染した食品を食べて感染

2 感染予防策

- 食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。（2度洗いが効果的）
- 下痢や嘔吐等の症状がある人は、食品を直接取り扱わないようにしましょう。
- 感染者のふん便や嘔吐物を適切に処理しましょう。

3 感染者のふん便や嘔吐物の処理

感染者のふん便や嘔吐物には大量のノロウイルスが存在しており、二次感染源となりえます。

- ① 床等に飛び散った嘔吐物等が乾燥しないうちに速やかに処理に取りかかります。（ノロウイルスは乾燥すると容易に空中に漂い、これが口に入って感染することがあります。）
- ② 処理するときは、使い捨てのエプロン、マスク、手袋等を着用します。
- ③ ウィルスが飛び散らないように静かにペーパータオル等で拭き取ります。
- ④ 家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）で浸すように床を拭き取ります。
- ⑤ 拭き取りに使用したペーパータオル等は、ビニール袋に密閉して廃棄します。（ビニール袋に廃棄物が十分に浸る量の家庭用塩素系漂白剤を入れます。）
- ⑥ 空気の流れに注意しながら十分に換気を行います。



★詳しい情報はこちらへ…

- 埼玉県衛生研究所（埼玉県感染症情報センター）
<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/h22/>
- ノロウイルスに関するQ&A（厚生労働省）
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/0402041.html>
- 国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/>
- 「ノロウイルス感染防止対策のポイントはきちんと手洗いです！」
ー埼玉県保健医療部食品安全課ー
<http://www.pref.saitama.lg.jp/uploaded/attachment/584831.pdf>
- 家庭向け「防ごう！ノロウイルス感染」－東京都感染症情報センター
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/gastro/pdf-file/p-family.pdf>

事前に備えておくといよいもの

- 使い捨てエプロン
- 使い捨てマスク
- 使い捨て手袋
- ペーパータオル
- 家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）
- ビニール袋
- 新聞紙
- バケツ 等

